令和4年度社会福祉法人小千谷市社会福祉協議会事業報告書

社会は少子化や高齢化が進むと同時に人口減少を迎え、働き手の不足など福祉の課題としてのみならず、将来の社会機能の維持そのものにまで不安が高まりつつあります。

人と人が支えあい、いたわりあい、励ましあう心豊かな福祉社会の実現には、そこに住む多様な人々が互いを認め合い関わっていくことが何より前提となっています。小千谷市社協は誰もが生きがいを持ち、困難にあっても孤立することなく、安心してその人らしい生活を送ることができるよう「支えて」「受けて」の関係を固定することなく、互いに触れ合っていける新しい関係性によるボランティアの育成に力を入れてきました。新型コロナウイルスにより生活行動の変容を求められる中、事業の修正等を余儀なくされましたが、この新しい関係性が失われることが無いよう事業を進めてきました。地域共生社会の実現かつ持続を可能とするシステム作りに向け福祉会や町内会、民生委員児童委員、老人クラブ、ボランティア、行政、関係団体などと連携し共に地域の福祉を推進してきました。

また、社協の特性を活かし高齢者や障がい者等の要支援者に対する日常生活支援や法人後見等権利擁護事業の実施、ひきこもり支援活動団体等との連携による当事者や家族の居場所づくり、ひとり親世帯への生活支援、地域包括ケアの推進、出生した親子を対象に子育て支援等にも取り組みました。

令和４年度は、社協発展・強化計画（2022～2026年度）の計画初年度にあたり、地域福祉部門の強化と事業見直し、財政基盤の強化や情報発信の強化に取り組むと同時に、地域における様々な生活課題に的確に対応するため、第５次地域福祉活動計画（2022～2026年度）と両計画が一体となって地域福祉を進めてきました。

令和４年度の主な取り組みは、次のとおりです。

１．地域福祉部門の強化と事業の見直し

高齢者や障がい者、子育て中の親子など、対象とする事業を横断的な観点から見直し、誰もが集うことのできる「居場所」づくりに向け検討を始めました。居場所からはじまり、ひきこもり支援、有償の支えあい活動「あちこたネットおぢや」のニーズ発掘、必要な方には日常生活自立支援事業等の権利擁護事業につながる拠点を視野に進めました。

誰もが自分にできるボランティア活動に参加できるよう、ボランティア講座のメニューを基礎科目や選択科目に再編し「ふくしボランティアかれっじ」として参加を募りました。

２．福祉会を柱とする持続可能なネットワークの推進

「ふれあいいきいきサロン」や「友愛訪問」の実施、「福祉講座」の開催等、住民参加型の福祉サービスとして福祉会活動を推進しました。各地域の福祉会が情報を共有し、運営していく上でのネットワーク化が図られるよう、連絡会議や合同研修会を開催

し、育成・支援を行いました。各地区の生活支援コーディネーターと連携し福祉会を核とする生活支援体制の整備を進め、重層的な支援体制の構築に努めました。

３．断らない相談支援の徹底

社協の使命として事業の種別を問わず、住民からの相談をきちんと受け止め、相手の立場に立って寄り添い、必要な時は声を届ける支援を職員誰もが基本とし実践に努めました。社協の特性を活かしたネットワークにより、どんな相談でも次につなげ途切れさせない支援を心がけました。

権利擁護事業では、日常生活自立支援事業、法人後見事業とも利用件数が増加し、身寄りのない方々からも信頼・信用される支援を展開しました。

４．社協職員の人材確保・育成と組織の強化

計画的な人材確保・育成により質の高い事業を継続・安定して実施していくため、職員募集や採用方法を見直しましたが、人材の確保は年々難しくなってきています。

職員研修計画により、入職間もない職員から中堅職員等、職種や経験年数に応じたスキルアップ研修やOJT研修を実施しました。

全職員を対象にメンタルヘルスや腰痛予防研修を開催し、安全衛生の意識を高め、心身ともに健康で働ける職場環境を目指しました。

５．財政基盤の強化

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、介護サービス事業、障がい福祉サービス事業、子育て支援事業等、経営面では大きな影響を受けました。アフターコロナを見据え質の高いサービスの提供にともなう安定した事業収入の回復が課題です。

社協会費や共同募金、その他の寄付金等、事業のための自主財源は、例年通りいただくことができましたが、貴重な財源によって実施してる社協の事業については市民等会員に向け理解していただける機会や方法について今後も検討し強化していきます。

６．情報発信の強化

社協の事業について年代を問わず関心・興味を持っていただけるようホームページのデザインを一新し、ボランティアグループの活動紹介動画を取り入れるなど内容の充実を図りました。Facebook(フェイスブック)をツールに社協だよりだけでは伝えきれない事業や活動の様子を随時掲載するとともに各種ボランティア講座の案内等、積極的に情報発信に努めました。

＜社会福祉事業＞

サービス区分	１　法人運営事業

１　事業の概要

社協発展・強化計画に基づき法人経営の安定化や総合的な企画、各部門間の調整など、社協事業全体のマネジメントにあたりました。

受動喫煙の防止や健康増進、コロナウイルス感染防止の観点から管理運営する全施設の敷地内全面禁煙を実施し、安全衛生啓発に努めました。

また、職員研修計画に基づき各種研修を実施、またはオンライン研修も含め受講し、職員のスキルアップを図りました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	34,121,032	役員報酬、職員人件費
事務費支出	2,454,240	消耗品費、旅費交通費、通信運搬費他
積立資産支出	90,000	県社協職員退職共済掛金
支出合計	36,665,272	

３　主な事業

(1) 役員会等の開催

①理事会

期　日	主な内容
第1回 6月7日(火)	〔議事〕 議案第1号　令和3年度事業報告及び決算について 議案第2号　評議員選任候補者の推薦について 議案第3号　定時評議員会の招集について 〔報告〕 ・令和3年度会長及び常務理事の職務執行状況について ・令和3年度社会福祉充実残額について
第2回 9月12日(月)	〔議事〕 議案第1号　評議員選任候補者の推薦について 〔報告〕 ・在宅福祉サービス事業等の経営状況について
第3回 11月25日(金)	〔議事〕 議案第1号　放課後児童健全育成事業運営規程の一部を改正する規程の制定について 議案第2号　令和4年度会計資金収支補正予算(1次補正)について 議案第3号　令和4年度第1回臨時評議員会の招集について 〔報告〕 ・令和4年度社協活動概況中間報告について ・令和4年度会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
第4回 令和5年 2月17日(金)	〔議事〕 議案第1号　情報公開規程の制定について 議案第2号　文書取扱規程の一部を改正する規程の制定について 議案第3号　職員被服貸与規程を廃止する規程の制定について 議案第4号　評議員選任・解任委員の補欠選任について 議案第5号　評議員選任候補者の推薦について

	議案第6号　令和4年度第1回臨時評議員会の招集について
第5回 3月9日(木)	〔議事〕 議案第1号　令和4年度会計資金収支補正予算（1次補正）について 議案第2号　令和5年度事業計画及び収支予算について 議案第3号　放課後児童健全育成事業運営規程の一部を改正する規程の制定について 議案第4号　役員等賠償責任保険契約について 議案第5号　小千谷市障害者支援センターさつき工房施設長の解任及び選任について

②評議員会

期　日	主な内容
定時 6月22日(水)	〔議事〕 議案第1号　令和3年度事業報告及び決算について 議案第2号　理事の補欠選任について 〔報告〕 ・令和3年度社会福祉充実残額について
第1回臨時 12月20日(火)	＜大雪に伴う交通障害等の発生のため、開催中止＞
第1回臨時 令和5年 3月20日(月)	〔議事〕 議案第1号　令和4年度会計資金収支補正予算（1次補正）について 議案第2号　令和5年度事業計画及び収支予算について 議案第3号　監事の補欠選任について 〔報告〕 ・放課後児童健全育成事業運営規程の一部を改正する規程の制定について ・情報公開規程の制定について ・文書取扱規程の一部を改正する規程の制定について ・職員被服貸与規程を廃止する規程の制定について

③評議員選任・解任委員会

期　日	主な内容
第1回 6月7日(火)	〔議事〕 議案第1号　評議員の補欠選任について
第2回 9月12日(月)	〔議事〕 議案第1号　評議員の補欠選任について
第3回 令和5年 2月17日(金)	〔議事〕 議案第1号　評議員の補欠選任について

④監事会

期　日	主な内容
5月17日(火)	・令和3年度事業の実施状況について ・令和3年度会計決算関係及び財産状況について ・令和3年度社会福祉充実残額について

⑤福祉サービス第三者委員会

期　日	主な内容
4 月 27 日(水)	・苦情解決の実施状況報告会（苦情 9 件・要望 0 件）

（2）職員の育成・資質向上

安全衛生研修(メンタルヘルス)	7 月 8 日(金)、12 日(火)
安全衛生研修(腰痛予防)	11 月 9 日(水)

（3）会員会費制度の理解と加入促進

	４年度目標	実加入数	会費収入
一般会員	11,000 世帯	10,756 世帯	7,540,867 円
賛助会員	600 名	545 名	560,000 円
団体会員	10 団体	8 団体	96,000 円
企業等法人会員	200 社	212 社	1,180,000 円
合　　計			9,376,867 円

サービス区分	２　地域福祉推進事業

１　事業の概要

第５次地域福祉活動計画に基づき各種事業を実施しました。新型コロナウイルス感染防止を踏まえつつも地域のつながりを途切れさせないため、福祉会活動の一声訪問の実施等、事業の実施方法を工夫し実施しました。また、地域ささえあい事業は第１層生活支援コーディネーターとして第２層コーディネーターと連携し、高齢者の困りごと支援等、地域に不足する生活支援サービスの創出を行いました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	6,035,945	各種ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ・生活支援員人件費
事業費支出	26,440,841	相談所運営、配食サービス他各種事業費
事務費支出	499,096	消耗品費、通信運搬費他
助成金支出	3,546,544	福祉会・いきいきサロン助成
積立資産支出	18,000	県社協職員退職共済掛金
支出合計	36,540,426	

３　主な事業

（1）福祉会推進事業

①福祉会活動の育成・支援（いきいきサロン開催状況別紙）

地区	福祉会（設立順）	いきいきサロン（順不同）
西小千谷	本町、土川、上ノ山、桜町、千谷川、平沢、 栄町、稲荷町、船岡	土川、上ノ山、日吉、元町、船岡、西中、稲荷町、桜町、千谷川、宮田町、上村、栄町、平成、山本、本町、高畑、谷内、時水、平沢
東小千谷	元中子、東山地区、津山、旭町、薄生、木津町、横渡、東栄、山寺町、信濃町、木津団地、浦柄	東栄、元中子、旭町、木津、木津団地、信濃町、津山、薄生、横渡、山寺、浦柄、東山
千田	小粟田、高梨町、三仏生、千谷	三仏生、千谷、高梨、五辺、小粟田
南部	真人町里地、岩沢、川井地域	真人町里地、川井

片貝	片貝	片貝
合計	29 か所	39 か所

※いきいきサロンに関して、新型コロナ感染拡大防止のため未実施地区もありました。

②会議、研修会の開催

期日等	内　　容
福祉会連絡協議会会議 6 月 20 日(月) 参加 26 名	・令和 4 年度福祉会連絡協議会事業計画について
福祉会夏期研修会 8 月 30 日(火) 参加 67 名	・講演会「笑いと健康づくりについて」 講師：（一社）新潟県労働衛生医学協会 専務理事　大西　金吾氏
福祉推進員研修会 10 月 27 日(木) 参加 47 名	・福祉推進員の役割について ・各福祉会の福祉推進員の活動について（報告） ・情報交換
福祉会連絡協議会会議 令和 5 年 2 月 27 日(月) 参加 45 名	・令和 5 年度補助金申請について ・令和 4 年度実績報告について ・情報交換
福祉会合同研修会 3 月 17 日(金) 参加 111 名	・福祉講演会「お笑い人生相談」 講師：弁護士法人一新総合法律事務所　非常勤顧問 日本笑い学会「笑いの講師団」　今井 誠氏
いきいきサロン合同研修会 3 月 17 日(金) 参加 89 名	・みんなで楽しく健康レク（35 名） 講師：こいこいスポーツクラブおぢや　鈴木弘巳氏 ・座ってできるヨガ体操（54 名） 講師：いいあんべ　柳田めぐみ氏

(2) 生活支援サービス事業

①日常生活自立支援事業の実施と啓発

ア　新規相談等

相談件数(件)	受付件数(件)	契約件数(件)
22	9	10

イ　利用者数

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
6 人	7 人	8 人	21 人

ウ　支援計画に基づく、生活支援員（専門員含む）による援助の実施（延べ）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
30 人	83 人	117 人	230 人

エ　相談件数（訪問）

相談内容	件数	相談内容	件数
契約前の相談・訪問	90	契約	10
契約内容の変更	8	日用品の購入等の相談・援助	514
解約の手続き	1	生活支援員に同行	11
評価訪問	38	金融機関等の手続き	25
成年後見制度等移行に向けた検討会議	4	関係者との調整会議	28
その他	20	合　計	749

オ　各種研修会参加

・日常生活自立支援事業専門員研修会Ⅰ　1回（1名）
・日自担当部課長会議　1回（2名）
・日自専門員ミーティング　1回（1名）
・日自生活支援員研修Ⅱ「スキルアップ編」　1回（2名）
・日自専門員研修Ⅱ「スキルアップ編」　1回（1名）

②生活支援サポーター事業「あちこたネットおぢや」の実施

ア　実施状況等

サポーター(協力会員)登録者数(人)		79
利用会員	利用者数(人)	40
	利用延べ回数(回)	853

※サポーター登録者数について：ささえーる片貝30人含む

イ　相談・支援件数

新規相談（件）	登録者相談・調整（件）	延新規相談（件）
44	174	158

ウ　会議の開催

・生活支援サポーター連絡会　5月20日（金）　参加者25名

③成年後見制度・法人後見事業

ア　受任状況

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
4人	0人	0人	4人

イ　相談・受付・契約件数

相談件数	受付件数	受任件数
1	1	1

ウ　法人後見事業運営委員会の開催

	日　時	内　容	会　場
第1回	9月28日(水)	法人後見事業進捗状況報告	サンラックおぢや
第2回	令和5年 2月15日(水)	法人後見受任審議 法人後見事業進捗状況報告	サンラックおぢや

エ　各種研修会参加

・令和4年度成年後見制度担当者研修会　1回（3名）
・令和4年度第2回介護支援専門員会議『権利擁護支援を考える』　1回（1名）
・令和4年度成年後見制度中核機関職員研修会　1回（3名）
・令和4年度成年後見制度市長申立推進研修会　1回（3名）
・令和4年度成年後見制度法人後見・権利擁護センター研修会　1回（3名）
・権利擁護研修会（小千谷市地域自立支援協議会　相談・サービス提供事業所合同部会研修会）　1回（1名）

④ひきこもり支援事業

ア　実施状況等

・当事者、家族の居場所の提供として『わたしの居場所ぷらっと*ホーム』を実施しました。

11 月 19 日（土）参加者 2 名

11 月 22 日（火）参加者 2 名

11 月 24 日（木）参加者 2 名

・誰でも集える居場所について理解を深め、地域共生について考えるきっかけづくりとして「居場所づくり講座」を実施しました。

第 1 弾　みんなの居場所を考える講演会　11 月 1 日（火）参加者 30 名

第 2 弾　行ってみよう、みんなの居場所（視察）11 月 14 日（月）参加者　16 名

視察先　①実家の茶の間・紫竹　②ドリームハウス

イ　各種研修会参加

・視察研修

NPO 法人新潟ねっとイツモノトコ　1 回（3 名）

・ひきこもり支援従事者研修会（オンライン）1 回（5 名）

・ひきこもり当時者の居場所を考える会 1 回（2 名）

(3) 介護予防・地域ささえあい事業

①介護予防普及啓発事業の実施

高齢者の食生活改善講座	22 件	介護予防体操実践講座	58 件
転倒予防講座	11 件	口腔ケア実践講座	16 件

②生きがい対応型通所事業の実施

デイホームだんらんの開設（会場：ひさだ・はうす）

月～金曜日　午前 10 時～午後 3 時

ア　利用実績等

・デイホームだんらん

利用延人数	日平均利用者数	月登録人員 4 月及び 3 月	実稼働日
1,874 人	8.0 人	(4 月)60 人　（3 月）60 人	236 日

・通所型サービスＢ（デイホームＢ）

利用延人数	日平均利用者数	月登録人員 4 月及び 3 月	実稼働日
5 人	0.02 人	(4 月)1 人　（3 月）0 人	236 日

イ　主な行事

行事名	期　日	場　所・行　先
春のお花見	4 月 11 日(月)、12(火)、13 日(水) 14 日(木)、15 日(金)	お花見ドライブ（行先:小千谷市内、長岡方面）
お楽しみ会	新型コロナ感染拡大防止のため中止	
秋のバスハイク	11 月 11 日(火)、4(金)、7 日(月) 9 日(水)、10 日(木)	紅葉狩り（行先：小千谷市内、長岡方面）

ウ　各種研修会参加

研修会名	期　日	会　場
デイホーム従事者研修会	7 月 19 日(火)	小千谷市役所
地域高齢者等の『食』のサポート研修会	令和 5 年 2 月 20 日(月)	小千谷市役所
デイホーム従事者情報交換会	3 月 15 日(水)	サンラック

③第１層生活支援コーディネーター業務委託事業

生活支援体制の整備・拡充を図る目的で、第２層生活支援コーディネーターや事務局と連携し、住民による支えあい活動の重要性について第 1 層協議体メンバーと情報交換の開催や移動支援のニーズ調査を行い生活支援サービスの充実に取り組みました。

主　な　活　動　内　容	件数
地域資源の開発	19
地域に不足するサービス及び支援の創出	13
サービス及び担い手の養成	5
高齢者などが担い手として活動する場の確保	1
ネットワークの構築	11
関係者間の情報共有	11
事業主体間の連携体制づくり	0
ニーズと取組みのマッチング	9
地域の支援ニーズと事業主体との活動のマッチング	9
事業主体の活動ニーズと活用可能な地域資源のマッチング	0
第２層生活支援コーディネーター（ＳＣ）との連携	78
第２層ＳＣとの事務局会議の開催	24
第２層ＳＣ情報交換会の開催	12
第２層ＳＣからの相談対応、活動支援	38
第２層協議体の庶務等	0
第２層ＳＣの新規配置に向けた取り組みに関する支援	4

(4) 困りごとのある人・高齢者・障がい者・子育て世帯への支援

①ふれあい福祉センター相談所の運営

	開設日	開設時間	相談員
常時相談			
一般相談 (心配ごと相談)	毎週火曜日・木曜日	9:30～11:30	心配ごと相談員 6 名
専門相談			
法律相談	毎月第 2・4 水曜日	13:30～16:30	弁護士 2 名
年金相談	毎月第 1 水曜日	13:30～16:00	社会保険労務士 1 名

ア　相談内訳

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生計	8	健康・衛生	0	教育・青少年	0
年金	6	医療	0	心身障害児(者)福祉	0
就職・生業	2	精神保健	0	母子福祉・父子福祉	1
住宅	8	人権・法律	3	老人福祉	7
家族	8	財産	39	苦情	3
結婚	1	事故	2	その他	3
離婚	11	児童福祉・母子保健	0	合　計	102

イ　各種研修会の開催

・相談員研修会（視察研修代替）　　8 月 31 日(水)会場：サンラックおぢや

・相談員研修会及び懇親会　　12 月 6 日(火)会場：サンラックおぢや

②除雪費助成事業の実施（市の事業を一部事務委託）

・高齢者除雪費援助事業　高齢者世帯：654 件（助成額：11,332,000 円）

③災害ボランティア活動支援

期日・場所等	内　　容
8 月 17 日(水)～18 日(木) 村上市　パルパーク神林	災害ボランティアセンター運営支援 （両日 2 名参加）
9 月 2 日(金) 村上市　パルパーク神林	県北豪雨被災地支援（ボランティアバスの運行） （社協職員 3 名、ボランティア 4 名参加）
10 月 20 日(木) サンラックおぢや（web）	災害ボランティアセンターにおける連携・協働に関する研修会　1 名参加
11 月 26 日(土)～28 日(月) 静岡県清水市	災害ボランティアセンター運営支援（関ブロ派遣）1 名参加
12 月 14 日(水)～15 日(木) 新潟ユニゾンプラザ	令和 4 年度災害支援コーディネーター養成研修 初級編　1 名参加
令和 5 年 1 月 23 日(月)～15 日(火) 新潟ユニゾンプラザ	令和 4 年度災害支援コーディネーター養成研修 中級編　1 名参加

④緊急災害見舞金給付事業の実施

火災・水害等の被災世帯へのお見舞い　火災見舞　0 件

⑤配食サービス事業の実施

高齢者のみの世帯等で希望世帯に、見守りや安否確認を目的にボランティアによる配食サービス、会食サービスを実施しました。（月 2 回）

配食地区	配食日	調理会場	対象数（人）	世帯数	
				単身	高齢
西小千谷①	第 1・3 水曜日	サンラックおぢや	53	32	21
西小千谷②、城川地区	第 2・4 水曜日	サンラックおぢや	107	68	39
東小千谷	第 2・4 火曜日	勤労青少年ホーム	44	26	18
東山	第 2・4 火曜日	東山住民センター	11	2	9
片貝	第 2・4 水曜日	片貝総合センター	52	30	22
岩沢	第 2・4 金曜日	岩沢住民センター	23	9	14
合　　計			290	167	123

⑥男性料理教室の実施

65 歳以上の男性を対象に料理教室を開催。食生活の自立や生きがい・仲間づくりを支援しました。（毎月第 2 火曜日）

【参加者数】

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(人)	11	10	12	11	10	8	11	14	中止	12	13	10	122

⑦火災予防見守り安心事業

消防本部、電力会社と協働で火災予防の呼びかけと見守り、生活状況の聞取りと情報提供を実施しました。

期　　日	対象地区	対象世帯数
4 月 25 日(月)、26 日(火)	西小千谷	14
11 月 21 日(月)、22 日(火)	東小千谷	12

⑧救急医療情報キット配付事業

緊急時や災害発生時に適切な医療活動に繋がる医療情報を記入し、冷蔵庫へ保管するためのキットを配付しました。

地区	配付数	内　　訳				
		単身高齢者世帯	高齢者世帯	障がい世帯	高齢+障がい	その他
西小千谷	90	82	4	1	3	0
東小千谷	24	23	0	1	0	0
千田	1	1	0	0	0	0
南部	2	2	0	0	0	0
片貝	14	12	0	1	1	0
合　計	131	120	4	3	4	0

⑨児童遊園地遊具等整備費補助事業の実施

遊具新設	4 件	栄町、蒔生、上村、小粟田
遊具修理	1 件	城内
助成額合計	853,000 円	

(5) ふくしボランティアかれっじの開催

講　座　名	期日・場所	内　　容	受講者数
①ボランティア入門講座	サンラックおぢや 4月25日（月）	ボランティアの基礎、活動紹介、ボランティアトーク	5名
②入門手話講座 ・昼の部(全８回) ・夜の部(全８回)	小千谷市民会館 5月11日(水)～6月29日(水) 5月12日(木)～6月30日(木)	聴覚障がいの理解を深めながら手話を学ぶ	(昼)　1名 (夜)　6名
③要約筆記にチャレンジ	6月12日（日）	要約筆記の歴史、基礎知識、実技講習	4名
④傾聴講座	サンラックおぢや 7月6日（水）	「よい聞き手になるために」 小千谷市の現状とこれからの地域に求められること、障がい者の理解	10名

⑤夏！ボラ体験プログラム(新規)	サンラックおぢや 7月31日（日） 7月31日（日） 8月31日（日） 8月3日（水） 8月7日（日） 8月7日(日) 8月8日（月） 8月10日（水）	フロアカーリングを楽しもう 手話を学ぼう楽しく話そう 配食手伝い隊 書いて伝えよう（要約筆記） ふれEyeフェア 親子でおもちゃ作り 学童保育手伝い隊	中止 4名 19名 4名 中止 9名 14名 2名 4名
⑥退職前安心セミナー	令和5年2月20日（月） サンラックおぢや	年金・再就職等の情報提供、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の紹介	7名

(6) 広報啓発活動の実施

①福祉ふれあいフェスティバル

福祉団体やボランティアグループの活動を通し、市民へ地域福祉やボランティア活動の啓発と理解を深めました。

10 月 8 日(土)　来場者 409 人　参加ボランティア 101 人

②おぢや社協だより（毎月 25 日）発行、**パンフレット**の発行

③企業向けボランティア情報誌の発行　（令和 5 年 3 月）　160 社へ送付

(7) ネットワーク機能の強化

①協力員懇談会の開催

社協について理解と協力を得るため、協力員（町内会長を委嘱）、民生委員児童委員や市議会議員の皆様に対し小千谷市民会館を会場に開催しました。

6 月 30 日(木)　参加者 154 名

・令和 4 年度社協事業等の説明

・第 5 次地域福祉活動計画について

・講演会「地域共生の居場所づくり～人と人、人と社会がつながるために～」

講師：支え合いの仕組みづくりアドバイザー　河田　珪子氏

②各種関係会議への参加

福祉、保健、医療などの機関・団体との連携のため各種関係会議に参加しました。

会議名	出席回数	会議名	出席回数
・公営住宅入居者連絡会議	6	・認知症対策推進検討会議	2
・地域包括ケア会議	3	・いのちと心の支援連絡会	2
・生活困窮者支援調整会議	2	・地域救急医療体制関係会議	1
・高齢者虐待防止対策推進会議	1	・自立支援協議会	1

③共同募金運動への協力

共同募金の使途等の広報や募金ボランティア活動への支援をしました。

ア　赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の実績

募金方法	めやす額(円)	実績額(円)
町内戸別募金(赤い羽根・歳末一本化)	9,215,000	8,858,633
法人・個人事業所募金	1,650,000	1,511,391
職員・企業内募金	1,120,000	981,247
学校募金(保育園・認定こども園含む)	360,000	284,507
興行募金	193,000	227,692
街頭募金	100,000	66,143
その他の募金	120,000	180,589
封筒以外の歳末募金	50,000	79,934
合　　計	12,808,000	12,190,136

＊めやす額に対する割合　95.2%

イ　関連会議等の開催

名　　称	期　日	会　場
共同募金助成決定交付式	6月7日(火)	サンラックおぢや
共同募金委員会	6月7日(火)、9月12日(月)、 令和5年2月17日（金）、 3月22日（水）（書面会議）	サンラックおぢや
共同募金助成審査委員会	令和5年2月3日(金)	サンラックおぢや

サービス区分	3　共同募金配分事業

1　事業の概要

ボランティア活動や地域福祉活動、福祉教育を支援し、障がい者や認知症高齢者等に優しい地域づくりを推進しました。

2　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
事業費支出	4,917,569	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ保険料、福祉活動用車両費、危険防止標識作成、広報費他各種事業費
事務費支出	446,627	振込手数料、通信運搬費他
助成金支出	4,427,616	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ助成金、地域福祉活動助成金、社会福祉普及校助成金
その他の支出	800,000	助成事業返還金
支出合計	10,591,812	

3　主な事業

(1) ボランティアセンター事業

①ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する情報提供体制の整備を図りました。ボランティアグループとの共催により各種ボランティア講座を開催しました。

②ボランティア連絡協議会の支援

ア　運営委員会等の開催

期　日	内　　容
第１回 ５月 26 日(木)	・新役員、新代表の紹介 ・令和４年度事業について ・ボランティア活動助成金について ・情報交換
第２回 ９月１日(木)	・新規登録団体紹介 ・福祉ふれあいフェスティバル参加について ・ボランティアふれあい交流会の検討について ・情報交換
第３回 11 月８日(火)	・福祉ふれあいフェスティバル参加した感想・報告について ・ボランティアふれあい交流会参加･取りまとめ･役割分担等について ・情報交換
第４回 令和５年 ３月 10 日(金)	・令和４年度事業報告について ・令和５年度事業計画いついて ・役員改選について ・活動助成金について ・情報交換

イ　加盟ボランティアグループ　44 グループ・延べ 604 名（他に個人会員４名）

●技術ボランティア　　14 グループ・155 名	
	小千谷手話サークル、手話サークルあじさい会、小千谷市音声訳の会、点訳きつつきの会、運転ボランティア、小千谷市立図書館読み語りグループ、片貝読みかたりの会、点とう虫の会、触読会ほたる、ボランティア広場遊友クラブ、小千谷要約筆記サークル、ミックス・ピ座、おぢやトイクリニック、小千谷語り部の会
●地域ボランティア　　20 グループ・337 名	
	きずなの会、キッチングループ、やまびこの会、小千谷市民生児童委員ＯＢ会、西小千谷地区配食ボランティア、西小千谷地区配達ボランティア、東小千谷地区配食ボランティア、東小千谷地区配達ボランティア、片貝地区配食ボランティア、東山地区配食ボランティア、岩沢地区配食ボランティア、ゴリラサークル、小千谷国際交流の会、認知症高齢者見守隊笑和会、わさかきさん、花植えん会、フードバンクおぢや氣まま、子どもダカラ、山本山～夢・絆・笑顔～の会
●施設ボランティア　　10 グループ・112 名	
	ワンパークプレイ教室、あけびの会、さつき会、こだまの会、ひだまりの会、ひまわりの会、音楽交流もみじの会、寺小屋クラブ、ハーモニカクラブ、菜の花会
＊活動助成金交付　31 グループ　593,000 円	

ウ　フードドライブ設置

市民から寄附いただいた食品をフードバンクへ送付、生活困窮者への食料支援のお手伝いをしています。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
寄附食品 (kg)	2.5	40	8.6	58	223	82	125	125	283	58	75	133	1213.1

③認知症高齢者見守り隊講座（市と共催）

期日・会場	内　　容	参加者数
６月 23 日(木) サンラックおぢや	認知症とその対応 高齢者の安心と安全～虐待の予防～	12 名

7 月 6 日(水) サンラックおぢや	「よい聞き手になるために」 小千谷市の現状とこれからの地域に求められること、障がい者の理解	13 名
8 月 24 日(水) サンラックおぢや	介護者からのメッセージ 認知症高齢者見守り隊（笑話会）活動紹介 ボランティアの基本	15 名

④おもちゃ病院の運営（毎月１回）　会場：サンラックおぢや

おぢやトイクリニック所属のおもちゃドクターが市民から持ち込まれる壊れたおもちゃを治しました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受付数	22	2	20	15	12	9	17	15	18	7	16	14	167

⑤24 時間テレビチャリティ・キャンペーン協力　会場：イオン小千谷店

8 月 27 日(土)～28 日(日) 小千谷高校 4 名、小千谷西高校生 6 名が参加協力、高校生ボランティアの育成にも努めました。

(2) 住民福祉活動や高齢者・障がい者・子育て世帯への支援

①地域福祉活動助成金交付事業

市民が企画し参加する地域福祉活動の広がりを図る事業に対し助成金を交付しました。

申請・交付決定		実施団体	
件数	21 件	17 件	旭町町内会、桂町内会、小千谷要約筆記サークル、真人町里地福祉会、稲荷町福祉会、元中子町内会、上ノ山実年会、木津団地町内会、片貝町一之町二区町内会、東小千谷夢あふれるまちづくり活性化協議会、千谷川地域ふれあい会、片貝町福祉会、岩沢山谷町内会、木津町内会、池ケ原絆の会、元町町内会、上ノ山青年会
助成金額	1,648,000 円	1,283,641 円	

②福祉活動用車両の貸出し

福祉会やいきいきサロン、デイホーム等へマイクロバスを貸出しました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	5	3	2	4	0	3	10	8	1	0	1	2	39

③「あちこたネットおぢや」生活支援サポーター養成講座（会場：サンラックおぢや）

期　日	内　　容	参加者数
第 1 回 6 月 24 日(金)	・あちこたネットについて学ぼう 講師：社協職員・	6 名
第 2 回 7 月 6 日(水)	・高齢者や障害者との関わり方 ・傾聴を学ぼう 講師：市保健福祉課職員・基幹相談支援センター職員・アクティヴリッスン　代表　澤村直樹氏	9 名
第 3 回 7 月 22 日(金)	・生活支援サポーターの活動を知ろう 講師：生活支援サポーター	6 名

④プロがやさしく教える安心介護教室（会場：サンラックおぢや）

期　日	内　　容	参加者数
第1回 9月16日(金)	・「介護保険制度の仕組みとサービス」 ・「保険外サービス」 講師：ケアマネージャー、社協職員	8名
第2回 10月4日(火)	・「福祉用具・介護用品について」 講師：福祉用具専門相談員	7名
第3回 10月29日(土)	・「介護技術の基本（実技）」 講師：介護福祉士	8名
第4回 11月2日(水)	・「認知症の理解と・介護者の心のケア」 講師：介護老人福祉施設 モス・コーラ　デイホーム	12名

⑤ふれ愛クリスマス会の開催

期　日	内　　容	参加者数
12月18日(日) サンラックおぢや	障がい児・者の社会参加を促進し、ボランティアとの交流を図る	73名 ボラ4名

⑥年末年始配食サービス事業

期　日	内　　容	配布数
12月21日(火)～28日(火) 西小千谷、東小千谷、東山、片貝、岩沢地区	配食サービス対象者へボランティア手作りの「おせち料理」をお届けした	279個

⑦除雪費助成事業の実施

・要援護者世帯除雪費援助事業　母子・障がい者世帯：30件（助成額：422,000円）

⑧危険防止標識交付事業の実施

種類別	配付数	町内名	町内数
標識(看板)	28	西中、三仏生、時水、真人（源藤山）、真人（干三）、千谷、滝谷、二俣、 逃入、上片貝、上坪野、片貝（町裏）	12
シールタイプ	16	滝谷、上ノ山、二俣、真人（干三）	4
合　計	44		16

⑨子育て支援事業

ア　赤ちゃんハッピーギフト

出生した親子の子育てを応援するため、こども商品券と子育て応援用品をプレゼント、あわせて社協だよりに希望者の赤ちゃんの写真を掲載します。

申請数	社協だより掲載希望者数	社協だより掲載者数
125名	17名	14名

イ　おぢや子ども笑顔プロジェクト

子育て中のひとり親世帯に対し食の支援による負担軽減に向け、お正月の福袋（フードバンクにご寄付いただいた食料およびお菓子の詰め合わせやこども商品券）を配布、

必要に応じ継続して相談支援につなげていきます。

配布世帯数：44 世帯 61 名

(3) 福祉教育推進

①社会福祉普及校事業

子どもの豊かな成長を促す福祉教育を推進し、活動のための助成金の交付や各学校の福祉担当教諭との打合会の開催、福祉体験学習や活動を支援しました。

ア　社会福祉普及校助成

	指定校数	助成額(円)
小学校	8	425,000
中学校	5	264,000
総合支援学校	1	37,000
高等学校	2	100,000
合　計	16	826,000

イ　社会福祉普及校担当者打合会

期日・会場等	内　　容
5 月 12 日(木) サンラックおぢや 参加者　14 名	福祉学習メニュー表の配付、活用方法の説明。各校の活動実績報告・事業計画に基づき情報交換。福祉学習新メニューの紹介、地域支え合いづくりについて

ウ　福祉体験学習の支援

期　日	学校名・学年	参加数	会　場	内　容
4 月 15 日	小千谷西高校		サンラック	担当教員と福祉教育打合せ
4 月 19 日	小千谷小学校		サンラック	担当教員と福祉教育打合せ
5 月 2 日	小千谷小学校		サンラック	担当教員と福祉教育打合せ
5 月 17 日	小千谷小学校 4 年生	131 名	小千谷小学校	福祉講話
6 月 1 日	小千谷小学校 4 年生	33 名	小千谷小学校	高齢者・車イス体験
6 月 3 日	小千谷西高校 3 年生	14 名	小千谷西高校	福祉講話
6 月 3 日	小千谷小学校 4 年生	33 名	小千谷小学校	高齢者・車イス体験
6 月 15 日	小千谷小学校 4 年生	32 名	小千谷小学校	高齢者・車イス体験
6 月 17 日	小千谷小学校 4 年生	33 名	小千谷小学校	高齢者・車イス体験
6 月 23 日	片貝中学校		サンラック	担当教員と福祉教育打合せ
7 月 4 日	吉谷小学校		サンラック	担当教員と福祉教育打合せ
7 月 5 日	片貝中学校		サンラック	担当教員と福祉教育打合せ
7 月 8 日	片貝中学校 1 年生	36 名	片貝中学校	福祉講話
7 月 11 日	片貝中学校 1 年生	36 名	片貝中学校	高齢者・車イス体験
7 月 14 日	吉谷小学校 6 年生	17 名	吉谷小学校	高齢者・車イス体験
8 月 8 日	学童(いずみキッズ)	24 名	サンラック	障がいスポーツ体験
9 月 7 日	和泉小学校 2,3 年生	20 名	和泉小学校	障がいスポーツ体験
9 月 29 日	小千谷小学校 4 年生	35 名	サンラック	高齢者とリモート交流
9 月 30 日	小千谷小学校 4 年生	35 名	本町	誘導歩行
10 月 20 日	小千谷中学校 1 年生	150 名	小千谷中学校	福祉・防災講話
10 月 21 日	小千谷小学校 4 年生	35 名	小千谷小学校	盲導犬との交流
11 月 4 日	小千谷小学校 4 年生	35 名	小千谷小学校	ボランティア講話切手整理体験
11 月 15 日	小千谷中学校		小千谷中学校	担当教員と福祉教育打合せ
11 月 17 日	和泉小学校 6 年生	17 名	和泉小学校	高齢者・車イス体験
11 月 17 日	小千谷中学校 1 年生	35 名	小千谷中学校	高齢者疑似体験
11 月 22 日	千田中学校		千田中学校	担当教員と福祉教育打合せ
11 月 22 日	千田中学校 3 年生	41 名	千田中学校	福祉講話
12 月 1 日	小千谷中学校 1 年生	35 名	小千谷中学校	高齢者疑似体験

12 月 5 日	小千谷中学校 1 年生	35 名	小千谷中学校	高齢者疑似体験
12 月 16 日	千田中学校 3 年生	41 名	千田中学校	高齢者・車イス体験
1 月 19 日	東小千谷中学校		東小千谷中学校	担当教員と福祉教育打合せ
1 月 26 日	東小千谷中学校 3 年生	30 名	東小千谷中学校	高齢者疑似体験
2 月 2 日	東小千谷中学校 3 年生	30 名	東小千谷中学校	高齢者疑似体験
2 月 7 日	片貝小学校		片貝小学校	担当教員と福祉教育打合せ
2 月 9 日	片貝小学校 3 年生	22 名	片貝小学校	福祉講話
2 月 7 日	片貝小学校	33 名	片貝小学校	高齢者疑似体験
2 月 21 日	南中学校 3 年生	21 名	南中学校	高齢者疑似体験
2 月 22 日	片貝小学校 3 年	22 名	片貝小学校	車イス体験・手話体験

エ　各学校との連携

小千谷･川口地区小･中学校･警察等連絡協議会	7 月 12 日（火）、11 月 15 日(火)

②卒園記念品贈呈事業

各園の卒園式に合わせて、卒園児に小学校で使用できる体操着袋を贈呈	配付数 204 名

③福祉人材の育成

実習指導に協力 実習生受入れ　3 名	①新潟県立大学 4 年　1 名 前期：5 月 16 日(月)～5 月 20 日(金) （大学内感染者多数につき途中で中止） 後期：8 月 16 日(火)～8 月 31 日(水) ②新潟青陵大学 3 年　2 名 前期：6 月 7 日(火)～6 月 23 日(土) 後期：10 月 4 日(火)～10 月 21 日(金)
おぢやしごと未来塾に出展（キャリア教育推進事業）	12 月 7 日(水)　小千谷市総合体育館 中学生を対象に市内の産業・企業を理解する機会として社協もブースを持ちＰＲ

(4) 当事者団体等の支援

①あけびの会（ひとり暮らし高齢者の会）事業の実施

※感染症予防の為、毎月 2 回、2 グループに分けて開催。あわせてパーテーションの使用、黙食の実施。

ア　主な行事

期　　日	内　　容	参加者数
総会 4 月 21 日(木)、22 日(金)	令和 3 年度事業報告、令和 4 年度事業計画	38 名
春のバスハイキング 5 月 26 日（木）、27 日（金）	国営越後丘陵公園、道の駅ながおか花火館、道の駅 R290 とちお等	43 名
秋のバスハイキング 10 月 27 日（木）、28 日（金）	悠久山公園、国営越後丘陵公園、もみじ園	40 名
忘年会 12 月 8 日(木)、9 日(金)	サンラックおぢや	30 名
新年会	大雪のため中止	
役員会 令和 5 年 3 月 8 日(月)	令和 4 年度事業・決算報告、役員選任、令和 5 年度事業計画	9 名

イ　会食会の実施（毎月２回）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加者数(木)	13	13	13	17	12	17	12	18	16	中止	14	20	165
参加人数(金)	15	15	20	12	16	10	14	13	14	中止	19	15	163
計	28	28	33	29	28	27	26	31	30		33	35	328

＊毎月、ボランティア「キッチングループ」が調理した昼食を交流しながらいただきました。

ウ　その他

・「あけびの会だより」発行　9回

・特別養護老人ホーム小粟田の里へ会員によるボランティア活動：今年度は中止

②介護者の会事業の実施

介護者の会（在宅の寝たきり等の家族を介護する人たちの会）では、介護用品斡旋事業を実施、指定業者による店舗販売や配達を年間を通して行っています。

（会員数 130 名）

ア　主な行事

期　日　等	内　　容	参加者数
総会 4 月 22 日(金) サンラックおぢや	総会 学習会「高齢者の権利擁護について」	20 名
春の親睦会旅行 6 月 10 日(金)	春の親睦会旅行 「道の駅ながおか花火館・越後丘陵公園」	10 名
秋の親睦会 11 月 26 日（土）	映画観賞会「ぼけますから、よろしくお願いします」、懇親会	14 名
役員会 令和 5 年 3 月 23 日(木) サンラックおぢや	令和 4 年度事業・決算報告、 令和 5 年度事業計画・予算、役員選任	15 名

イ　介護用品斡旋事業

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数(人)	55	62	70	64	61	62	61	55	67	61	61	64	743

ウ　陽だまりサロンの開催（会場：サンラックおぢや）

計 11 回開催（1 月は大雪のため中止）　参加人数延べ 155 名（月平均 14.1 名）

会員同士の交流をとおして、介護についての不安や悩みを語り、共感・共有する場として毎月第 4 木曜日、午前 9 時～午後 3 時まで開催しています。

エ　その他

・「介護者の会だより」発行　2回

③障がい者社会参加促進事業

・ハートフルフェスタへの参加協力　　11 月 11 日(金)　(市民会館)

・実行委員会　　8 月 25 日(木)・10 月 28 日(金)　(市民会館)

④認知症関連事業への協力

期　　日	内　　容
認知症予防と介護の市民講座 7月30日(土)	・実践報告 ・講演会「認知症とともに生きる希望宣言」 講師：おれんじドア代表 認知症本人「希望大使」　丹野　智文氏
認知症徘徊 SOS ネットワーク事業・徘徊模擬訓練 11月6日(日)	認知症の普及啓発と認知症になっても住み続けられる地域づくり座談会を企画会議に取り入れ実施しました。（船岡町で開催）

(5) 社協の基盤整備

①わかりやすい社協情報の発信

毎月１回おぢや社協だよりを発行（再掲）、ホームページの内容を随時更新しました。SNS（Facebook）による情報発信。

②新潟県民福祉大会への参加

期日・会場等	内　　容
11月10日(木) 長岡市　長岡市立劇場 参加者９名	式典、記念講演「人はがんとどう向きあうか？」 日本対がん協会　会長　垣添忠雄氏

サービス区分	４　放課後児童健全育成事業

１　事業の概要

保護者が就労などにより昼間不在となる家庭の小学生の児童をお預かりし、指導員が遊びを中心とした健全育成活動を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校と連携を図り実施しました。

コロナ禍の最前線で働く指導員の賃金等を改定し、処遇改善を図りました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	56,851,800	指導員人件費
事業費支出	5,722,716	おやつ、教材料
事務費支出	459,901	事務消耗品、通信運搬費、研修費他
支出合計	63,034,417	

3　主な事業

(1)学童クラブの運営（10か所）

名　称	実施場所	児童数(人)	
		通年	長期
西小千谷学童クラブそよかぜ	小千谷小学校内	31	58
西小千谷学童クラブさくら	小千谷小学校内	72	4
西小千谷学童クラブおひさま	小千谷小学校内	35	5

西小千谷学童クラブあおぞら	小千谷市民会館内	40	21
東小千谷学童クラブにこにこカービィ	勤労青少年ホーム内	15	11
片貝学童クラブなかよしキッズ	に組総合センター	17	19
千田学童クラブわんぱくキッズ	千谷センター	31	21
南部学童クラブよつばキッズ	克雪管理センター	8	13
和泉小学校学童クラブいずみキッズ	高梨集落開発センター （夏季は和泉小学校内）	20	11
吉谷小学校学童クラブよっしーキッズ	吉谷トレーニングセンター		5
合計	10クラブ	269	168

(2)学童クラブ指導員研修会の開催（会場：サンラックおぢや）

期　日	内　　容
6月16日(木)	「不審者対応研修」 講師：小千谷警察署生活安全課　諸原巡査部長（34名参加）

(3)その他

・10月14日(金)　障がい児担当者等研修会　　5名参加

・10月24日(月)・11月6日(日)・11日(金)・19日(土)　児童厚生員研修　各1名参加

・11月2日(金)　児童虐待防止研修会　　6名参加

サービス区分	５　善意銀行事業

１　事業の概要

いただいた寄附金等を有効に活用させていただきました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
事業費支出	350,192	車両ガソリン代等
事務費支出	220	振込手数料
助成金支出	548,828	介護用品購入助成
支出合計	899,240	

３　主な事業

(1) リフト付自動車貸出し事業

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	1	1	0	0	3	4	5	2	0	1	0	0	17

(2) 介護用品購入助成

介護者の会事業の介護用品購入費を助成しました。

(3) こんすけ基金事業

10 月 15 日（土）　　会場：サンラックおぢや

体験型イベント「紙アプリであそぼう！つくろう！」　　参加人数：43 人
（親：17人　子：26人）

サービス区分	６　資金貸付事業

１　事業の概要

低所得世帯等が安定した生活を送れるよう、資金貸付により経済的に支える相談窓口として、市生活困窮者自立支援事業担当部署等と連携し相談支援を行いました。また、コロナ禍による失業または収入の減少に対する特例貸付は、9月30日で受付を終了しました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	1,351,030	職員人件費
事業費支出	57,090	貸付の手引書、保管庫他
事務費支出	109,558	事務消耗品、通信運搬費他
支出合計	1,517,678	

３　主な事業

(1) 生活福祉資金貸付事務

相談					
	新規相談者	35 名			
	相談件数(延べ)	155 件			
貸付					
	資金種別	申　請		貸　付	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
	教育支援資金	1	257,000	1	419,000
	総合支援資金（特例貸付）	6	3,300,000	6	3,300,000
	緊急小口資金（特例貸付）	13	2,100,000	13	2,100,000
	計	20	5,657,000	20	5,819,000

※教育支援資金：令和 4 年度の申請と貸付は別件となります（貸付 1 件は昨年度末に申請し今年度当初に貸付が決定した件、申請 1 件は令和 4 年度末に申請した件です）

各種研修会参加

・生活福祉資金貸付事業担当者会議　1 回（1 名）

(2) たすけあい資金の貸付

相談					
	新規相談者	5 名			
	相談件数(延べ)	16 件			
貸付					
	たすけあい資金 （限度額 70,000 円）	申　請		貸　付	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
		0	0	0	0

サービス区分	７　介護保険事業

１　事業の概要

介護や支援が必要な高齢者が、可能な限りその居宅において自立した生活を営むことができるように訪問介護事業やデイサービス事業、居宅介護支援事業を実施しました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	190,879,567	職員人件費
事業費支出	32,467,708	給食材料・委託費、車両費、消耗品他
事務費支出	28,002,884	光熱水費、業務委託費、通信運搬費他
負担金支出	2,129,490	給湯ボイラー入替一部負担金
積立資産支出	798,000	県社協職員退職共済掛金
支出合計	254,277,649	

３　主な事業

(1) 訪問介護事業

ア　利用実績等

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	実稼働日
9,015 人	24.9 人	(4 月)75 人　(3 月)62 人	362 日

＊生活援助等（保険外サービス）

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	実稼働日
337 人	2.8 人	(4 月)1.9 人　(3 月)3.8 人	121 日

イ　その他

・内部研修　12 回、182 名参加　　・外部研修　6 回、 8 名参加

(2) デイサービス事業

①デイサービスセンターサンラックおぢや

ア　利用実績等

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	実稼働日
8,385 人	27.0 人	(4 月)90 人　(3 月)92 人	310 日

イ　行事

期　日	行事名
7 月 7 日	七夕まつり
10 月 16 日	秋まつり
12 月 22 日～12 月 24 日	ゆず湯
12 月 26 日	クリスマス会
令和５年２月３日	節分（豆まき）
令和５年３月１日	大運動会

ウ　その他

・内部研修　　10 回、66 名参加　　・外部研修（web 研修）5 回、5 名参加

・デイサービスだより「だんだんどーも」発行　3 回（春、秋、冬）

②デイサービスセンターみなみ

ア　利用実績等

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	実稼働日
7,823 人	25.6 人	(4 月)71 人　(3 月)77 人	306 日

イ　行事

期　日	行事名
6 月 15 日～7 月 9 日	七夕まつり
8 月 17 日	夏まつり
10 月 26 日	運動会
12 月 22～23 日	ゆず湯
令和 5 年 2 月 3 日	豆まき
3 月 3 日	ひな祭り
3 月 13 日	演芸会

ウ　その他

・内部研修　　26 回、52 名参加　　・外部研修　6 回、6 名参加

・デイサービスだより「だんだんどーも」発行　3 回（春、秋、冬）

(3) 居宅介護支援事業

ア　利用実績等

利用延件数	月利用者数４月及び３月	認定調査
3,557 件	(4 月)297 人　(3 月)303 人	63 件

イ　介護度別利用者数

介護度別	事　業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
利用者数(人)	64	253	786	771	853	548	197	85

ウ　その他

・内部研修　　15 回、104 名参加　　・外部研修（zoom 含む）14 回、 25 名参加

・他法人居宅合同事例検討会　1 回、7 名

サービス区分	８　障害福祉事業

１　事業の概要

障がい者が地域で安心して生活を送れるよう、各種障害福祉サービスと地域生活支援事業を実施しました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	84,552,267	職員人件費
事業費支出	4,012,659	消耗品費、光熱水費、車両費、修繕費他
事務費支出	2,368,039	事務消耗品、通信運搬費、賃借料他
就労支援事業支出	5,392,159	材料費、仕入れ材料費、利用者工賃他
積立資産支出	297,000	県社協職員退職共済掛金
支出合計	96,622,124	

３　主な事業

（1）障害者支援センター事業

①就労継続支援Ｂ型事業

一般就労に支障がある人に働く場の提供や訓練（作業活動：受注・製造・販売・芽咲庵喫茶店等）学習会や地域との交流、就労定着するための支援を行いました。

ア　利用実績等

・就労継続支援Ｂ型事業

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	開所日数
4,858 人	17.9 人	（4 月）30 人　　（3 月）26 人	272 日

・さつき工房芽咲庵

利用延人数	日平均利用者数	月利用客数１日平均４月及び３月	開店日数
1,925 人	10.8 人	（4 月）12.3 人　（3 月）12.8 人	178 日

イ　作業訓練の実施

受注加工業務			**〔協力事業所等〕** (株)林屋紙器、三陽工業(株)、(株)グロー、信越工業(株)、ヨネックス(株)、市民の家おぢゃ～る、越後製菓（株）、細貝農業、自主支援協議会の就労部会にて共同受注　　計９社
清掃・農作業業務			**〔協力事業所等〕** 上ノ山クラブ、稲荷町会館、新潟県中山間地農業技術センター、サンラックおぢやシルバー人材センター事務室、市民の家おじゃ～る、信濃川河岸段丘ウォーク実行委員会、信越工業（株）、細貝農業、個人宅（草取り）、就労支援部会内調達農作業　　計 10 件
喫茶店業務			さつき工房芽咲庵(月～金曜日、土曜日不定期) ※9 月 30 日～10 月 31 日・12 月 19 日～28 日は休業
自主製品出店販売			
	4 月	3 件	小千谷市メーデー関連グッズ販売、サンラック芽咲庵出張販売芽咲庵うどんの日（3 回）
	5 月	6 件	上ノ山町内秋葉神社大祭出店、イオンイエローレシート店頭活動、さつき会よし太君焼き販売、サンラックよし太君焼き販売、サンラック芽咲庵出張販売、芽咲庵うどんの日（4 回）
	6 月	3 件	イオンイエローレシート店頭活動、グリーンパークイベント出店、サンラック芽咲庵出張販売、芽咲庵うどんの日（2 回）
	7 月	8 件	民生児童委員研修出店、農カフェきららイベント出店、イオンイエローレシート店頭活動、市民の家おぢゃ～るかき氷販売（7 回）、西岩寺クッキー販売、日本セルプ関連カタログ販売、サンラック芽咲庵出張販売、芽咲庵うどんの日（2 回）
	8 月	3 件	市民の家おぢゃ～るかき氷販売（9 回）、サンラック芽咲庵出張販売、芽咲庵うどんの日（2 回）
	9 月	3 件	片貝振興会花火バッチ類販売、サンラック芽咲庵出張販売、芽咲庵うどんの日
	10 月	4 件	福祉ふれあいフェスティバル出店、市民の家おぢゃ～るイベント出店、グリーンパークイベント出店、小千谷小学校音楽発表会出店

	11 月	5 件	ふれあいボランティア交流会用クッキー販売、心の健康講演会出店、サンラッククッキー販売、サンラック芽咲庵出張販売、芽咲庵うどんの日（2 回）
	12 月	2 件	日本セルプ関連カタログ販売、サンラック芽咲庵出張販売
	令和 5 年 1 月	3 件	イエローシート、サンラック芽咲庵出張販売、芽咲庵うどんの日
	2 月	2 件	風船一揆出店、芽咲庵うどんの日（4 回）
	3 月	1 件	サンラック芽咲庵出張販売
自主製品委託等販売（通年・単年含む）			にくいち、福祉の店パレット長岡、山本山クラインガルテン、サンプラザ、勝龍、クレープハウス星野屋、おにぎり屋ささや、ティアラ、食泉（阿部幸製菓）、美容院プルメリア、そなえ館、農カフェきらら、サンラックおぢや

ウ　就労支援事業収入状況（収入合計 5,392,159 円）

自主製品(商品)販売収入		受注加工製品収入	
仕入製品		請負軽作業（箱折り等）	579,774 円
お茶、缶ｺｰﾋｰ、米菓、小千谷市指定ごみ袋他	787,889 円	請負清掃業	689,143 円
自主製品		請負農作業	345,364 円
芽咲庵	1,039,237 円	請負部品組立	967,635 円
缶バッジ	128,140 円	（内官公需 455,143 円）	
クッキー、よし太君焼き	428,690 円		
その他	426,287 円		
小　計	2,022,354 円		
合　計	2,810,243 円	合　計	2,581,916 円

エ　利用者の自立と社会参加等の支援

※就Ｂ…就労継続支援Ｂ型・地活…地域活動支援センター

期　　日	行事名	人数	内　容
7 月 19 日 20 日	就Ｂお楽しみ事業	8 人 14 人	花火館　リバーサイド千秋 花火館　寺泊アメ横
6 月 15 日	就Ｂ地活学習会	30 人	働き方について
8 月 23 日	就Ｂ地活学習会	28 人	一般常識について
10 月 27 日	就Ｂ地活学習会	25 人	ヨガ体操
12 月 28 日	就Ｂお楽しみ事業	26 人	プチ忘年会
令和 5 年 1 月 25 日	就Ｂ地活学習会	22 人	健康について

・就労支援　　2 件　　・定例会(利用者の会)　　7 回

オ　実習生受入れ

期　　日	学校名	人数	内　容
7 月 4,5 日 8 月 23･24 日	新潟県立十日町看護専門学校	2 人 2 人	就Ｂ・地活実習
6 月 13 日～ 7 月 1 日	小千谷市立総合支援学校高等部　2，3 年生	2 人	就Ｂ実習
7 月 7･8･11 日	小千谷市立千田中学校 2 年生	2 人	就Ｂ・地活実習
10 月 18･19 日	新潟青陵大学	2 人	就Ｂ・地活実習
9 月 26 日～ 10 月 7 日	小千谷市立千田中学校	3 人	就Ｂ・地活実習

9月30日	小千谷市立小千谷小学校　総合学習福祉専攻4年生	30人	就Ｂリモート学習（交流）
10月26日	〃	30人	就Ｂ販売体験活動（交流）
10　月　24　日～10月31日	小千谷市立総合支援学校高等部　2，3年生	2人	就Ｂ実習

カ　地域との交流、ボランティア等受入れ状況

※就Ｂ…就労継続支援Ｂ型・地活…地域活動支援センター

期　　日	団体・施設名	人数	内容
4月28日	さつき会	2人	地活（花見）
6月17日	さつき会	2人	地活（柏崎）
7月19日 20日 21日 22日	さつき会	1人 1人 5人 6人	就Ｂお楽しみ事業 〃 就Ｂクッキー作り 〃
8月18日	さつき会	2人	地活（上越）
10月3日 4日 8日 23日 25日	さつき会	7人 7人 4人 1人 2人	クッキー作り 〃 福祉フェスティバル出店 おぢゃーるイベント出店 地活(長岡)
11月14日 15日	さつき会	5人 4人	就Ｂクッキー作り 〃
12月1日 19日	さつき会	1人 1人	地活（長岡） 就Ｂ芽咲庵出張販売
令和5年 1月5日 30日	さつき会	1人 1人	地活（新年会） 就Ｂ芽咲庵出張販売
1月30日	さつき会	2人	就Ｂ芽咲庵出張販売
2月13日 26日 28日	さつき会	2人 1人 2人	就Ｂ芽咲庵出張販売 絵紙、ひいな祭り 地活（長岡）
3月5日 14日	さつき会	1人 2人	絵紙、ひいな祭り 地活茶話会
通年（月～金）	さつき会	毎回1人	就Ｂ芽咲庵お運び

キ　その他

・職員研修　内部研修11回　　外部研修８回

・機関紙「あいことば」発行　2回（6月、3月）

②地域活動支援センター事業

創造的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の場の提供、レクリエーション活動や日常生活に関する支援を行いました。

ア　利用実績等

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数4月及び3月	開所日数
1,347人	5.5人	(4月)17人　(3月)18人	246日

イ　創作活動、日常支援活動その他行事等

・カラオケ　　5回　8人参加
・ゲーム大会　12回　56人参加
・サテライト事業　8回　129人参加
・ハートフルフェスタ実行委員会3回
・機関紙「はあもにー」発行　12回（毎月）
・畑、園芸作業　4回　8人参加
・軽スポーツ 12回　45人参加

(2) 相談支援事業

様々な相談や必要な情報提供、助言、福祉サービス等利用計画の作成を行いました。

ア　利用及び相談実績等

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数4月及び3月	実稼働日
2,080人	8.6人	(4月)51人　(3月)53人	243日

相談延件数	サービス利用計画作成数
4,719件	312件

イ　障がい別実利用者数

障がい別	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳
利用者数(人)	42	6	301	259	117	0

ウ　その他　・外部研修　12回　・各種関係会議　20回

(3) 訪問系サービス事業

ホームヘルパーが居宅を訪問し、身体介護や家事援助など生活全般にわたる支援や外出時における支援を行いました。

①居宅介護

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数4月及び3月	実稼働日
3,114人	8.6人	(4月)23人　(3月)22人	362日

②重度訪問介護　なし

③行動援護　なし

(4) 地域生活支援事業

①移動支援事業

屋外で移動が困難な障がい者に、ホームヘルパーが外出のための支援を行いました。

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数4月及び3月	実稼働日
326人	1.5人	(4月)9人　(3月)9人	208日

(5) 共生型サービス事業

障がい児・者に高齢者と同じ事業所で活動の場の提供や見守りなどの日帰り支援を行いました。

①共生型生活介護

（デイサービスセンターサンラックおぢや）

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数4月及び3月	実稼働日
472人	1.77人	(4月)5人　(3月)4人	266日

（デイサービスセンターみなみ）

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	実稼働日
615 人	2.09 人	(4 月)5 人　(3 月)4 人	294 日

②共生型放課後等デイサービス

（デイサービスセンターサンラックおぢや）

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	実稼働日
382 人	1.74 人	(4 月)3 人　(3 月)3 人	220 日

（デイサービスセンターみなみ）

利用延人数	日平均利用者数	月実利用者数４月及び３月	実稼働日
737 人	2.68 人	(4 月)7 人　(3 月)6 人	275 日

(6) 小千谷市障がい者基幹相談支援センター事業

①初期相談件数

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉サービス利用等	1,278	家事・育児に関すること	122
サービス支援提供技術に関すること	63	住まいに関すること	286
障がいや病状について	983	自立に関すること(自立させたい含む)	43
健康・医療に関する支援	785	本人の就労に関すること	256
保育・教育に関すること	133	社会参加・余暇活動のこと	18
話を聞いてほしい	403	虐待に関すること	27
家族関係・人間関係	910	成年後見制度に関すること	23
不登校・ひきこもり(大学生以下)	13	権利擁護に関すること	15
家庭内暴力やひきこもり（成人）	30	触法行為・非行行動	89
金銭管理・財産管理	216	地域移行・地域定着に関する支援	6
家計・経済に関すること	233	その他	97
手帳や年金の申請方法等	294	延べ件数	6,323

②障がい別相談件数

障がい別	身体	知的	精神	重心	発達	高次脳機能	その他
実数	19	63	76	2	18	1	19
延件数	54	206	245	2	63	1	64

③初期相談支援方法

支援別	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	関係機関	その他	計
実人数	76	84	36	93	2	12	164	2	449
延件数	148	215	68	589	15	18	1,148	2	2,203

④各種取組

内　　容		回数	人数
相談支援事業所との連携強化			
	相談支援連絡会及び打合せ会議	12	67
	相談・サービス提供事業所部会及び打合せ会議	6	121
	対応困難ケース会議の開催、参加	73	
	相談支援事業所への業務支援（人材育成、研修会の企画・実施）	18	
	相談支援事業所への後方支援	542	

関係機関との連携強化		
各関係機関会議への参加	18	
地域生活支援整備促進の取組		
自立支援協議会への参加	6	
地域移行・地域定着促進への会議・研修会参加	12	
社会基盤の実情把握（サービス事業所へのヒアリング等）	18	
社会基盤の整備に向けた検討、会議	8	
権利擁護及び虐待防止の取組		
成年後見制度利用支援	4（名	
法人後見に関する連絡調整会議への参加	0	
虐待防止と養護者への支援	14（名	
虐待防止・権利擁護に関する研修会の開催	1	36
その他（各種研修会参加・相談支援従事者初任者研修演習指導・研修会等の講師）	57	

サービス区分	９　福祉センター事業

１　事業の概要

指定管理者として福祉施設の管理運営を行いました。総合福祉センターサンラックおぢやは建築後30年が経過し、施設設備の老朽化に伴う修繕が増加し、一般浴室については、設備の経年劣化や利用者数の減少のため、令和5年3月31日をもって廃止となりました。また、地域福祉センターみなみ及び克雪センターは建築・改修後23年が経過し、施設設備の老朽化に伴う修繕が増加しました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	4,292,630	職員人件費
事業費支出	4,230,807	修繕費、施設用消耗品費
事務費支出	24,002,824	光熱水費、業務委託費、保守料他
支出合計	32,526,261	

３　主な事業

(1) 総合福祉センターサンラックおぢや利用状況

利用件数	利用人員	利用料	徴収額
2,543 件	23,582 人	16,362,880 円	1,494,410 円

(2) 地域福祉センターみなみ及び克雪管理センター利用状況

利用件数	利用人員	利用料	徴収額
263 件	2,757 人	1,575,500 円	6,740 円

＜公益事業＞

サービス区分	１０　地域包括支援センター事業

１　事業の概要

高齢者に関する様々な相談に応じて、適切な機関、制度やサービスにつなぎ継続的に支援すると共に虐待の早期発見・防止に努めました。また、ケアマネージャーに対する指導や研修、地域ケア会議を開催し、医療・介護等の地域支援ネットワークの構築を推進しました。

２　支出決算額

科　　目	決算額（円）	説　　明
人件費支出	29,208,904	職員人件費
事業費支出	10,195,338	介護予防ﾌﾟﾗﾝ作成業務委託費、賃借料、車両費他
事務費支出	627,646	事務消耗品、通信運搬費、研修旅費他
積立資産支出	90,000	県社協職員退職共済掛金
支出合計	40,121,888	

３　主な事業

(1) 地域包括支援センター事業

①総合相談内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
介護相談(認知症以外)	120	虐待	114
医療相談(認知症以外)	478	認知症相談	490
介護認定申請	302	成年後見制度	63
介護保険サービス	885	住まいに関すること	151
生活支援サービス等	122	経済に関すること	153
介護予防	151	その他	228
家族関係	290		
権利擁護等	369	延べ件数	3,916

②各種業務

内　　容	回または件数	人または世帯数
総合相談支援業務-関係機関連携	211 回	
権利擁護業務		
普及啓発活動	25 回	393 人
虐待相談対応と通報件数	114 件	7 人
包括的、継続的ケアマネジメント支援業務		
地域ケア会議の開催		
a. 地域包括ケア会議及び包括ケア部会	6 回	263 人
b.困難事例検討会	6 回	
c.地区別会議及びサービス種別会議	1 回	23 人
c. 介護支援専門員会議の開催	6 回	126 人
介護支援専門員等への個別支援	54 件	
認知症地域支援推進員業務		
医療・介護等の連携等		
もの忘れ心配相談室実務	11 回	14 人

		認知症疾患医療センター連携会議等参加	9 回	
	認知症初期集中支援チーム員会議参加		1 回	
その他の業務				
	災害公営住宅への健康確認訪問		4 回	1 世帯
	現況調査未把握者等への孤立防止訪問		14 回	9 世帯

(2) 介護予防支援事業

①介護予防ケアマネジメント ABC 及び介護予防支援

利用延件数		2,455 件	月利用者数 4 月及び 3 月
	直営分	451 件	(4 月) 36 人 (3 月) 39 人
	委託分	2,004 件	(4 月) 174 人 (3 月) 169 人

②その他

・介護予防把握事業対象者の実態把握 0 人